

行雲流水

No.243 令和4年8月30日発行

人生は、「旅」である

校長 寒河江 正人

まだ8月だというのに、朝晩の肌寒さを感じます。
こうして、少しずつ秋が深まっていくのを感じるのでしょうか。

さて、3年生の諸君、いよいよ明日31日(水)から**研修旅行**ですね。
岩手県盛岡市・陸前高田市などが君たちの訪問を待っています。
「**旅の経験**」というものは、人を成長させるものです。
出発を目前に控えた諸君へ、「**錢(はなむけ)の言葉**」を贈ります。

江戸時代の俳聖、**松尾芭蕉**は「**おくのほそ道**」において、「**人生は旅である**」と著しました。
私たちは、今、それぞれの「**人生という旅**」をしているのです。

日々、生きていくと、人生にはいろいろな「**感動の瞬間**」があるものです。
夢中で暮らしている毎日、同じことの繰り返しのようには思えて気付かないだけのこと。
身近な家族や友人であっても気付かないような、**小さな小さな何でも無いようなこと**。
そんな「**ささやかな感動の連なり**」の中で、人は「**人生という旅**」を歩いているのです。

冒頭でも申し上げましたが、「**旅の経験**」は、人を成長させるものです。
しかし、何も考えず、ただ漫然と流されて、受け身で旅するよりも、いい方法があります。
まず、自分の**目**で見て、**耳**で聴いて、**鼻**で嗅いで、**肌**で触れて、**舌**で味わってみましょう。
その上で、**何かに気付いて、感じて、考えて、奥にある何かに思いを巡らしてみ**ましょう。
さらに、**その「思い」を仲間と伝え合**ってみましょう。
あなたと同じ「**思い**」だったり、似ていたり、少し違ったり、大きく違ったりします。

そして、もう一度、あなた自身の「**思い**」と向き合ってみましょう。
すると、あなたの「**気付き**」や「**学び**」は、広がり、高まり、深まっていくのです。
もうさっきまでのあなたとは違います。
「**自らの力**」で、主体的に自分を**成長**させたのです。

さあ、諸君にとって、かけがえのない「**旅の経験**」の始まりです。
それでは、くれぐれも気を付けて、行ってらっしゃい!!